

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

16.7.7
週報第 595 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第26週(6/27~7/3) (25週)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	30 (54)	↓
溶連菌咽頭炎	16 (19)	↓
伝染性紅斑 (リンゴ病)	9 (4)	↑
水痘	3 (5)	↓
流行性耳下腺炎	0 (0)	→
手足口病	0 (0)	→
咽頭結膜熱	1 (0)	↑
RSウイルス感染症	0 (0)	→
突発性発疹	2 (1)	↑

(参考) 秋田県の状況 第25週(6/20~6/26)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より1%増加)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より17%減少)
3位: 水痘 (全県で前週より54%増加)
4位: 伝染性紅斑
5位: 百日咳
県内の警報
伝染性紅斑: 北秋田
百日咳: 北秋田, 大館

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 情報

国立感染症研究所によると、全国で、昨年5月頃から患者報告数の増加が続いています。

累積患者数が多いのは、宮崎県、山形県、佐賀県、鹿児島県、石川県で、3~7歳が66%を占めています。

日本では、おたふくかぜを含むワクチンの定期接種が中止されて以降、4~5年間隔で流行を繰り返しています。

おたふくかぜの予防接種は、任意接種です。日本小児科学会では、できるだけ早期の接種と、予防効果を確実にするために2回接種を推奨しています。病気や予防接種について不明なことは、かかりつけ医に相談しましょう。

横手地域・学校欠席者情報(7/4)

疾患名	イ ン フ ル エ ン ザ	感 染 性 胃 腸 炎	お た ふ く か ぜ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	溶 連 菌 咽 頭 炎	伝 染 性 紅 斑	そ の 他
施設 (数)								
保育所・園 (35)		1		2		3	4	8
小学校 (22)						2	1	
中学校 (8)								
高校(7)								
特別支援 学校								

感染症情報収集システムより(人)